

市川英子議員の六月定例議会の一般質問をお知らせします。

## 公園と保存樹林地・街路樹の手入れと緑被率調査等について

・「枝が伸びすぎて見通しが悪く、薄暗いなどの公園や樹林地がある。点検を行い樹木の手入れをすべきでは」

市長 全ての公園を定期的に巡回し、点検を行い、見通しが悪く、死角など交通や防犯上障害になる樹木については、緑の保全に配慮しつつ適宜剪定を行っている。

保存樹林地については、所有者に対し適正な管理をお願いしている。

市長は以上のような考えを示しましたが、現実には保存樹林地が20年も30年も手入れされていない。大変困るという怒りの声、また、何回も市に枝の剪定を頼んだかやってもらえないという声が共産党市議団へ寄せられています。「剪定してくれれば風通しが良くなり家の中が明るくなる。自分たち素人が20年もたつ樹の剪定はとてもできない。」という声もあります。また、公園の樹が伸びすぎ電線にかかっている。危険ではないのか。市の仕事が東電かわからないが。という声も寄せられています。

・「羽加美緑地公園内にある池の水は現在入っていないが、今後入れる予定はあるのか」

市長 水漏れがあるので現在は水を入れていない。本年度借用していた未整備部分を購入し平成19年度に園路や広場などの整備を行う中でこの池の修繕方法等についても検討する。

公園の近所の人のお話では以前、水が入っていたときに、カワセミがやってきたそうです。本当にびっくりですね、また、公園には多くの種類の野鳥が生活しています。水が入るのが楽しみです。

・「緑被率調査はどのように行う予定か」

市長 緑が確認しやすい時期に、航空機により写真撮影を行い、写真で判別の内箇所については、現地調査を実施する。具体的には「地形図」と「航空機により撮影したデジタル写真」を元に緑被率を抽出し、面積計算を行い、羽村市全体及び地区ごとの「緑被率」を算出しその数字を基準にして「みどり率」を算出する。

時期は7月から8月の間で天気などを見ながら実施する。

・「多様性のある公園へのリニューアルとして19年度に川崎公園が予定されている。若者が利用できるスケートボード場などの設置もおねがいたい」

市長 設置は困難

スポーツセンター入り口前の広場を使いスケボーを楽しんでいる若い人がいたが市は危険であるため利用を禁止しました。禁止だけでなく違う場所の確保について努力すべきではと思います。

市は若者への支援対策が非常に手薄であると思います。市議団は予算の組み替えも行い若い人の施策の充実を具体的に提案しています。

16歳から市で健康診断を無料で実施せよ。

若者が集えるように地域の会館を無料で開放せよ。会館を利用しやすいように会館の中に常時管理人の配置を。

就職相談窓口の設置・ハローワークとの連携を

・「羽西3-7の保存樹林地で、今後手入れの方法など何か考えているか。また、保存樹林地内の狭い道路の拡幅は」

市長 管理の方法は道路や民地に支障がない限り自然のままに残す。市道の拡幅については松本神社に続く緑地の中の坂道として現状を重視し拡幅の計画はない。



## 自民・公明政権が決めた税制改革で高齢者が怒っています

羽村市にも問い合わせの電話が6月だけで100件

「住民税が高い。計算の間違いでは？」との問い合わせが市へ寄せられています。値上げの理由は2年前に強行された公的年金控除の縮小、老年者控除の廃止などの税制改革の為です。

住民税があがれば介護保険も国民健康保険税も上がり高齢者への負担は限界を超えています。

市民アンケートでも生活が少し苦しくなった・苦しくなったが多数  
区画整理に355億円も使うのはやめよ。市民の暮らしと福祉にまわせ

市議団は全市民対象に「市政アンケート」を実施しています。「8倍を超える増税。45年間払い続け老後は安心と思っていたのに」「収入がなく年金暮らしなので少しの増税でも将来が大変不安」といった意見が寄せられています。市は多くの方が反対する区画整理事業に355億円もつぎこむのではなく、市民が安心して暮らせるために税金を使うべきです。

**庶民増税ストップ、憲法9条まもりぬきます**